

**「SAVE JAPAN プロジェクト」を47都道府県に拡大
～ Web約款で希少生物種生息地の環境保全活動を支援 ～**

株式会社損害保険ジャパン（以下「損保ジャパン」、社長 櫻田謙悟）は、希少生物種等の生息地保全を目的とする環境保全活動「SAVE JAPAN プロジェクト」の対象地域を **2012年度から47都道府県に拡大して展開します。**

損保ジャパンは2011年4月から「SAVE JAPAN プロジェクト」を開始し、2011年度は12地域で34回開催しました。

2012年度は、より多くの地域住民の方々や環境NPOと協働し、市民参加型の環境保全活動を加速していきます。

1. 「SAVE JAPAN プロジェクト」の概要

お客さまが自動車保険のご加入時にWeb約款^{※1}をご選択いただいた場合に、その件数に応じて環境NPOなどへ寄付をします。寄付先となる環境NPOなどは、損保ジャパンからの寄付金をもとに市民参加型の環境保全活動を実施します。

「SAVE JAPAN プロジェクト」を通じて、地域住民の方々に身近な自然環境に関心を持っていただく機会を提供するとともに、NPOなどと協働して環境保全活動を実施することで「いきものが住みやすい環境づくり」を目指します。

※1 損保ジャパンのオフィシャルホームページ上で閲覧できる自動車保険の説明書（約款）です。

2. 2012年度の展開方針

NPOを支援する中間支援組織である特定非営利活動法人日本NPOセンターと連携し、47都道府県で、希少生物種生息地等の自然を守る市民参加型の環境保全活動を行います。

希少生物種の例としては、北海道霧多布のタンチョウ、栃木県のオオタカ、山口県のオオサンショウウオ、熊本県のムササビなどがあげられます。都道府県ごとの活動実施団体および保全対象とする希少生物種は別紙のとおりです。

各地の活動への参加者募集、実施報告については以下のホームページで順次公開していきます。

SAVE JAPANプロジェクト専用ホームページ

<http://savejapan-pj.net/kankyo.html>

【ご参考】 2011年度の取組実績

・ 環境保全活動の規模

12地域で34回開催し、約1,500人の地域住民の方などに環境保全活動に参加いただきました。

・ 寄付の実施

(東日本大震災支援)

3月11日に発生した東日本大震災を受け、被災地支援を目的として「東日本大震災NPO応援基金」※2を寄付先に追加し、7月に25,881,560円を寄付しました。

※2「東日本大震災現地NPO応援基金」(<http://www.jnpoc.ne.jp/>)

救援や生活再建活動を行う現地のNPO等を資金的に応援するため、特定営利活動法人日本NPOセンターと特定非営利活動法人市民社会創造ファンドが協力して設置した基金です。

(環境保全活動)

年間を通じての寄付実績については、集計が完了次第、公表する予定です。

以上

＜2012年度 SAVE JAPAN プロジェクト 活動団体一覧＞

別紙

都道府県	運営支援団体(※1)	実施団体(※2)	活動地域の代表的な希少生物種など
1 北海道	日本NPOセンター	霧多布湿原ナショナルトラスト	タンチョウ
2 青森県	あおもりNPOサポートセンター	ひろさき環境パートナーシップ21	トンボ、オオルリ、ボシヤンマ、オオルリボシヤンマ
3 岩手県	風・波デザイン	環境マイスター紫波	ヌマエビ など
4 秋田県	あきたパートナーシップ	冒険の鍵クーン	白神山地のブナ など
5 宮城県	杜の伝言板ゆるる	シナイモツゴ郷の会	シナイモツゴ
6 山形県	山形の公益活動を応援する会・アミル	村山市新西地区環境配慮プロジェクト(仮称)	マルバオモダカ、コバネアオイトトンボ、トウホクサンショウウオ
7 福島県	うつくしまNPOネットワーク	検討中	検討中
8 茨城県	茨城NPOセンター・コモンズ	東海村の文化財と自然を守る会	トウキョウサンショウウオ、オオムラサキ
9 栃木県	とちぎボランティアネットワーク	オオタカ保護基金	オオタカ、サシバ
10 群馬県	群馬NPO協議会	赤城自然塾	ニッコウキスゲ
11 山梨県	日本環境教育フォーラム	キープ協会 環境教育事業部	ヤマネ など
12 東京都	日本環境教育フォーラム	リトルターン・プロジェクト	コアジサシ
13 神奈川県	藤沢市市民活動促進連絡会	ゆい	ハマボウフ など
14 埼玉県	さいたまNPOセンター	綾瀬川を愛する会	ナガボノアカワレモコウ、ナガボノシロワレモコウ
15 千葉県	ちば市民活動・市民事業サポートクラブ	四街道自然同好会	メダカ、ヘイケボタル、コウホネ
16 静岡県	浜松NPOネットワークセンター	椎ノ木谷保全の会	ヒクイナ、ミカワバイケイソウ
17 愛知県	パートナーシップ サポートセンター	なごや東山の森づくりの会	トウカイモウセンゴケ、シラタマホシクサ、ササユリ、カスミサンショウウオ、ホトケドジョウ など
		なごや外来種を考える会	カワラナデシコ など
18 岐阜県	ぎふNPOセンター	達目洞自然の会 達目洞ヒメコウホネ特別保全地区(岐阜市条例)の管理団体	ヒメコウホネ
		石徹白(いとしろ)地区地域づくり協議会 やすらぎの里いとしろ	イワナ、アマゴ
19 三重県	日本環境教育フォーラム	大杉谷自然学校	アマモ など
20 新潟県	くびき野NPOサポートセンター	生物多様性保全ネットワーク新潟	トキ(佐渡) アカヒレタビラ(上越)
21 長野県	長野県NPOセンター	北信濃のオオルリシジミを守る会	オオルリシジミ
22 石川県	日本環境教育フォーラム	いしかわ環境パートナーシップ県民会議	ゲンジボタル、ウミミドリ など
23 富山県	市民活動サポートセンターとやま	Bamboo saves the earth	イタセンバラ
24 福井県	さばえNPOサポート	水辺と生き物を守る農家と市民の会	アベサンショウウオ、メダカ、ゲンゴロウ、ハッチョウトンボ、コウノトリ
25 大阪府	大阪ボランティア協会	鶴殿ヨシ原研究所	トネハナヤスリ、アゼオトギリ、イガクサ など
26 兵庫県	市民活動センター神戸	寺田池協議会	ガガブタ、ニッポンイシガメ、クサガメ など
		兵庫間伐サポートサービス	カタクリ など
27 京都府	きょうとNPOセンター	亀岡人と自然のネットワーク	アユモドキ
28 滋賀県	しがNPOセンター	遊林会	キクザキイチゲ、イチリンソウ、シロテンマ など
		山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会	ミツガシワ など
		ぼてじゃこトラスト	イチモンジタナゴ など
29 奈良県	奈良NPOセンター	生駒高山里山クラブ(生駒高山の宝ものをさがそう会)	オオタカ
		ならなぎ	奈良公園で生息する動植物 など
30 和歌山県	わかやまNPOセンター	わかやま環境ネットワーク	ゲンジボタル
31 広島県	ひろしまNPOセンター	西中国山地自然史研究会	ブナの原生林、ツキノワグマ など
32 岡山県	岡山NPOセンター	旭川源流大学実行委員会(岡山野生生物調査会)	オオサンショウウオ、ヤマネ など
33 鳥取県	日本環境教育フォーラム	とっとり・なんぶ手自然ネットワーク 通称サトノテ	オオサンショウウオ、カスミサンショウウオ、ギフチョウ、タガメ、コガタノゲンゴロウ など
34 島根県	日本環境教育フォーラム	大田の自然を守る会	ギフチョウ、イツモコバイモ、ウスイロヒョウモンモドキ、ムラサキセンブリ、オキナグサ、ベニバナヤマシャクヤク など

	都道府県	運営支援団体(※1)	実施団体(※2)	活動地域の代表的な希少生物種など
35	山口県	やまぐち県民活動支援センター	錦川オオサンショウウオの会	オオサンショウウオ
36	香川県	日本NPOセンター	瀬戸内オリーブ基金	ニッポンバラタナゴ
37	徳島県	市民未来共社	大川原	ミスミソウ、イワザクラ、フキヤミソバ、カタクリ、コフウロ、トクシマコバイモ など
38	愛媛県	愛媛NPOセンター	かわうそ復活プロジェクト	コウノトリ、ブッポウソウ
39	高知県	高知市民会議	トンボと自然を考える会	トンボ など
40	福岡県	ふくおかNPOセンター	和白干潟を守る会	和白干潟、ハクセンシロマネキ、クロツラヘラサギ、ズグロカモメ、ツクシガモ など
			元岡「市民の手による生物調査」	カスミサンショウウオ、カヤネズミ、ニホンイシガメ、ニホンアカガエル
			豊の国海幸山ネット	アオギス、オヤニラミ、アオギス、コナミチ
41	佐賀県	日本NPOセンター	温暖化防止ネット	検討中
42	長崎県	日本環境教育フォーラム	とりかぶと自然学校	オオキツネノカミソリ
43	熊本県	NPOくまもと	水と緑いきものネットワークくまもと	ムササビ
44	大分県	日本環境教育フォーラム	トキの夢営農組合	タガメ、ゲンゴロウ、ゲンジボタル など
45	宮崎県	NPOみやざき	綾の里山を守る会	ヒュウガアジサイ、キバナノホトギス、コウホネ、アサザ、ダガブタ
46	鹿児島県	鹿児島県NPO事業協会	桜島ミュージアム	タケコケモドキ、ハクセンシオマネキ
47	沖縄県	調査隊おきなわ	うるま市水と緑を考える会	イボイモリ など
			なはエコネットワーク	キバナヒメユリ など

(※1)運営支援団体……各地のNPO支援センター。実施団体を選定し、その運営支援を行う団体。

(※2)実施団体……地域に根ざして希少生物種などの保全活動を行っている環境団体等。プログラムの企画立案および当日のプログラムを運営する。